おおた認知症ケアガイド



Demência Guia de Cuidados

(Formas de Cuidados) Prefeitura Municipal de Ota

Demencia Guía de Cuidados

(Formas de Cuidar) Prefectura Municipal de Ota

太田市　痴呆患者护理指南（痴呆症护理路径）

認知症を理解し、住み慣れた地域で暮らせる街づくり

おおた 太田市

認知症とは

認知症とは、主に脳の病気を原因として、記憶の障害や物事の見当をつけることなどが上手く行えなくなり、生活の様々な場面において、徐々に生活への支障が増えていくものです。

～代表的な認知症の種類とその特徴～

アルツハイマー型認知症

- 同じ質問を繰り返す
- 日にちや時間が分からなくなる
- 約束を忘れることが増えた

血管性認知症

- 手足の麻痺がある
- 怒る、泣くなど気持ちの変化
- もの忘れがない時もある



認知症



レビー小体型認知症

- 手の震えやこわばりがある
- 実際にはいない人や物が見える
- 転ぶ、又は転びそうになる

前頭側頭型認知症

- 同じ行動を繰り返し行う
- 自分の都合だけで行動する
- 感情的な表現が見られない

軽度認知障害（ＭＣＩ）

・もの忘れの自覚があるが、記憶力の低下以外に明らかな認知機能障害がなく、軽度のもの。
ただし、認知症へと移行する人もいるとされている（年間で１０～１５％の割合）

若年認知症

・１８歳～６４歳までの発症で、男性に多いとされている。生活面とともに経済的な支援を必要となる方が多く、家族による介護負担が多い。早期の社会保障制度利用の相談が必要。

Point：健康なもの忘れと病気が原因のもの忘れは異なります。

気づきを大切にする

認知症への気づきといっても、本人やその周囲の人では感じ方や受け止め方は様々です。「あれ？」「いつもと違うな。」と感じる瞬間の不安を和らげることのできる人や機会をもつことが何よりも大切です。

病気の理解をする



「元気なうちから話題にする」

健康なもの忘れと病気が原因となるもの忘れは異なります。日頃から認知症について家庭内で話題にしたり、病気を正しく理解する機会に参加をしましょう。

「もしかしたら」をそのままにしない

まさか自分が、まさか家族がと不安になることがあったら、健診やかかりつけ医などへ相談することも大切です。そして何よりも、これからの暮らしを見直す機会にすることも大切です。

将来のこと自分ごとに



相談できる人・場所



「誰に相談したらよいかを見つけよう」

地域包括支援センターなど相談のできる場を知っておくことも大切です。匿名での相談も可能です。もちろん本人だけではなく、介護者も相談できる人、場所を大切に。

～自らの体調を相談できる人がいる安心～

相談といっても、何をどのようにしたらよいのかと悩まれる方も、
そうしたお悩みの段階から、ぜひ、お電話などで相談を。
（主な相談先は最後のページに記載があります）

Point：早く気づくことで、今後の暮らしの見通しが立てやすくなります。

認知症における受診・治療

早い段階での受診がその後の暮らしにおける質を保っていくことにつながります。治療が可能な病気やＭＣＩ（軽度認知障害）の段階であれば、認知機能の改善、維持ができる可能性があります。また、認知症と判断されたとしても、生活のサポートを相談できる機関を知り、将来の不安を減らすことにつながります。

「みんな、どんなことをきっかけに受診を考えるでしょうか。」

もの忘れが目立つ	外出の回数が減った	身だしなみの変化
物事への興味が減った	同じことを繰り返す	調理や家事のミス



受診のポイント

- 過去にかかった病気や事故、手術などの経験を整理しておく
- 現在、治療中の病気や処方されているお薬の情報を整理しておく
- 「いつ頃」から「どんなことが気になる」などをまとめておく
- 本人が困っていること、家族が困っていることを整理しておく
- 本人の様子を知る身近な人の付き添いも予定しておく

Check! かかりつけ医がいない場合は、地域包括支援センター又は認知症疾患医療センターへ相談をしてみましょう。



Point：受診前に医師へ伝えたいことをメモしましょう。

認知症の人との接し方

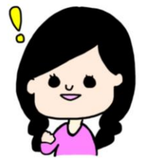


暮らしていく中で、人には言えない不安や目に見えない感情の揺れ動きが生じたりするものです。少しずつ進行する認知症の症状の中には、他人には分かりづらい不安や行動などがあります。周囲の接し方によってはその不安などを和らげることができます。

本人の話に耳を傾けて、否定的な言葉は使わない

分かりやすい言葉で、ゆっくりと話しかけましょう

体調の変化などに注意をしておきましょう



「つい、家族だと…。大きな声を出してしまう。」

何度言っても分かってもらえない。出来たことができない。とい時などは、声が大きくなってしまうというご家族は少なくありま「どうしたらイライラしないで関われるか。」を考えるとともに、な声を出した場面の出来事を話せる人をもつことも大切です。



ご家族同士の情報交換や相談の場として

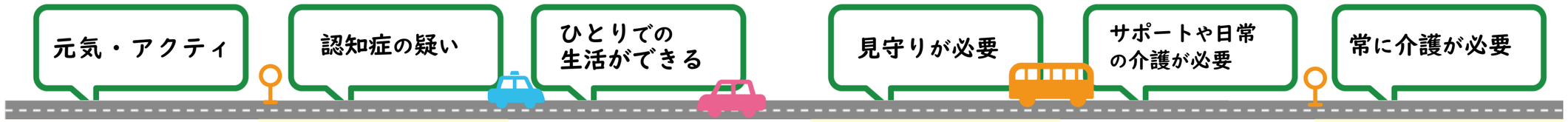
認知症の人と家族の会（群馬県支部）	027-289-2740
若年認知症ぐんま家族会	027-263-1166

Point：家族だから悩むことがあります。相談できる人をもちましょう。

太田市の認知症ケアガイド

どんな時にどんなサービスを利用するか

認知症を疑ったり、診断をされた後、どのような場所に相談したり、どのような介護保険サービスを利用したらよいかについて以下にまとめました。認知症の原因となる疾患によっては経過が異なりますが、今後の見通しを立てていく参考として御利用ください。



本人状況	体調管理や積極的な外出などを心がけていきましょう。	薬の飲み忘れなどあるが普段の買い物やお金のやりとりなどは自分で出来ている。	鍋焦がし、薬の飲み忘れなどの頻度が増えて、買い物やお金のやりとりでミスが生じ始める。	日付間違いや曜日が分からない。食べたことを忘れる。気持ちの変化などが激しくなる。	着替え、食事、トイレなど一人で済ませることが難しく、うまく行えない。	ほぼ寝たきりで、意思疎通も難しい。身の回りのことができない。身近な人が分からない。
家族の気持ちと対応	認知症は、家族の関わり方や環境調整により、症状が大きく変化し、気持ちの変化は人それぞれです。	今まで出来ていた事が上手くできず、生活上の手間が増えてしまったり、生活上の意見の食い違いが生じるなど、悩みを抱え込んでしまいがち。一人で悩まないようにしましょう。		介護の手間が増えることで、介護疲れや生活面での心配事など増えるため、体調を崩す心配がある。介護サービスを上手に利用しましょう。	今後の介護や医療について本人の気持ちなどを尊重すると、最期の過ごし方や看取りについて悩むことも多い。施設サービスなどを利用する場合は、見学や相談をしておきましょう。	
予防	地域のサロン活動・高齢者大学・げんき手帳・ちょいとサポート隊					
	市けんしん事業・介護予防教室					
相談	地域包括支援センター、民生委員児童委員、太田市社会福祉協議会、高齢者地域福祉自立支援事業等（ふれあい相談員）					
	認知症疾患医療センター（東毛敬愛病院内）、若年認知症コーディネーター					
	居宅介護支援事業所、認知症コールセンター、認知症の人と家族の会群馬県支部、若年認知症ぐんま家族会、認知症カフェ					
医療	各医療機関（かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局）、認知症サポート医、認知症疾患医療センター、訪問看護ステーション、太田市認知症初期集中支援チーム					
生活支援介護	認知症サポーターの養成・配食サービス					
	認知症等高齢者等事前登録制度、福祉用具貸与			介護用の紙おむつの支給・介護慰労金		
	成年後見制度（任意後見制度）・日常生活自立支援事業			成年後見制度（法定後見制度）		
	介護保険サービス（デイサービス、ホームヘルプ、ショートステイ、福祉用具貸与）					
	※介護保険サービス利用には、介護保険の申請が必要となります。お近くの地域包括支援センターやケアマネジャーへご相談ください。申請の代行を依頼することも可能です。					
住まい介護	寝具丸洗い乾燥、日常生活用具の給付、緊急通報装置の貸与、福祉電話の貸与			高齢者等住宅改造費の助成又は介護保険による住宅改修		
	介護用車両購入費の助成					
	有料老人ホーム（住宅型・介護付き）、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、ケアハウス（心身状況や収入要件などがありますので確認が必要）					
	要介護状態や収入状況等により入所要件や助成対象要件などが異なりますので、地域包括支援センターやケアマネジャーへご確認・ご相談ください。			グループホーム（認知症対応型）		
				介護老人保健施設、特別養護老人ホーム		



本人の状況によって、利用できるサービスは異なります。このガイドを目安にして利用できる資源を確認してみましょう。

チェックシートを記入してみましょう。

□同じことを言ったり聞いたりする　□しまい忘れや置き忘れが増えた

□物の名前が出てこなくなった　□料理、計算などミスが増えた

□以前はあった興味や関心を失った　□「頭が変になった」と不安をもらす

□ささいなことで怒りっぽくなった　□新しいことを覚えられない

□時間や場所の感覚が不確かになった　□趣味などに興味を示さなくなった

□夜中に急に起きて騒がしくなった　□物がなくなったと人を疑う

□身だしなみへの関心が薄れた　□ひとりになると強く不安を訴える







本チェックは、認知症を断定するものではありません

気になったら相談してみましょう。

太田・鳥之郷	地域包括支援センター	0276-55-2461
九合・休泊	地域包括支援センター	0276-60-4902
沢野	地域包括支援センター	0276-60-4903
韮川	地域包括支援センター	0276-60-4904
強戸・毛里田	地域包括支援センター	0276-60-4905
宝泉	地域包括支援センター	0276-55-1541
尾島	地域包括支援センター	0276-60-4907
新田	地域包括支援センター	0276-56-1717
藪塚	地域包括支援センター	0277-78-1096
太田市役所	介護サービス課　地域支援係	0276-47-1856

地域包括支援センター
◇保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの専門職３職種が配置された総合相談窓口です。お住まいの地域を担当するセンターへお気軽にご相談ください。



協力　認知症の人と家族の会群馬支部　太田市認知症地域支援推進員

製作協力：一般社団法人アンクル